

9月定例記者会見の概要

1 日時 令和6年8月29日(木) 10時00分～11時00分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 河北新報社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ② 毎日新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ③ 朝日新聞社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ④ 読売新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑤ 福島民友新聞社 相双支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑥ 福島民報社 南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑦ NHK 南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)

計 7 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

・新田副市長・教育長

・小高区役所長・鹿島区役所長・復興企画部長・市民生活部長

・健康福祉部長・こども未来部長・商工観光部長

・商工観光部企業立地担当理事・農林水産部長

・農林水産部政策担当理事・建設部長

・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 17 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

はじめに、宇宙関連産業の振興についてです。

8月9日に、実行委員会との共催で、浮舟文化会館をメイン会場に、東北最大級の宇宙ビジネスカンファレンス「福島スペースカンファレンス2024」を開催しました。

8月24日から25日には、連携協定を締結しているAstroX株式会社が、市内初のロケット打ち上げ実証実験を行い、無事成功しました。

また、本日新たに、宇宙関連企業であるASTRO GATE株式会社と連携協定を締結いたします。AstroX株式会社が実施したロケット打ち上げ実証実験において、打ち上げ場所の選定や調整、住民説明会の実施など、実証実験の支援を行ったと聞いています。

次に、北泉海水浴場についてです。

市では、北泉海水浴場を7月13日から8月18日まで37日間開設しました。

8月は週末に台風が接近したため、入込客数は伸び悩みましたが、計2万1,182人の皆様にご利用いただきました。

次に、台風についてです。

8月11日から12日にかけて台風第5号が本市に接近し、市では市内3カ所に自主避難所を開設いたしました。

翌週の16日から17日にかけては、台風第7号の接近に伴って県内で線状降水帯が発生する可能性があったことから、市内全域に「高齢者等避難」を発令し、避難所を5カ所開設しました。幸い大きな被害がなく、胸をなでおろしたところです。

今後も台風の発生が予想されます。自分や家族など大切な人の命を守る行動を取るために、防災マップの確認や家庭での備蓄、防災情報を入手する手段の確保など、平常時から災害に対して備えていただくようお願いいたします。

次に、ベビーファースト宣言についてです。

公益社団法人日本青年会議所が提唱する「ベビーファースト運動」の趣旨に賛同し、令和4年度から本市も参画しています。

今年も、市と一般社団法人原町青年会議所では8月23日に、新たに運動に加わる企業14社とともに活動宣言セレモニーを開催しました。これまで賛同いただいた企業や団体は計42社となりました。

皆様と協力しながら、子育て世代が子どもを産み育てたくなる社会の実現に向けて取り組んでまいります。

次に、福島県企業立地セミナーについてです。

8月27日に、東京都内で福島県及び福島県企業誘致推進協議会の主催による福島県企業立地セミナーが開催されました。

当日は、11人の市町村長によるショートプレゼンテーションがあり、首都圏の企業に向けて、本市の優位性についてアピールしてまいりました。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、「復興知」事業活動報告会についてです。

公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構では、令和3年度から「大学等の『復興知』を活用した人材育成基盤構築事業」、通称「復興知」事業を実施しています。この「復興知」事業は、大学や短期大学、高等専門学校が持つ人的・知的資源を、本市を含む浜通り等15市町村で集積・活用し、大学等の継続的な教育研究活動を通じて、復興に資する人材育成を目指す事業です。

この「復興知」事業の令和6年度活動報告会が本日8月29日午後、まるさん・あったまるアリーナ（市スポーツセンター）において開催されます。17大学・高専の学生らによるブース展示や、ステージでの取り組み発表を予定しており、本市の高校生も参加する予定です。

次に、浦尻貝塚縄文の丘公園についてです。

市が史跡公園として整備を進めてきた小高区の国史跡「浦尻貝塚」で、見学の拠点となるガイダンス棟の公開を開始します。

このガイダンス棟の公開によって、先に公開しております「貝塚観察館」を含む史跡公園が全面供用となります。開園初日である9月7日に開園式を執り行う予定です。

公園内には、実際に貝塚や土器に触ることができる展示や、目の前の風景を縄文時代の風景と重ね合わせて見ることでできる縄文スコープなど、五感で感じる見学手法を取り入れています。

ぜひ多くの方々にご来場いただきたいと思います。

次に、中学生海外研修報告会についてです。

本年8月に市内の中学2年生21人が、第一陣となるオーストラリア海外研修に行っておりましました。その報告会を9月8日に浮舟文化会館で開催いたします。

参加した学生たちが文化交流を通じて知った新たな体験や気づきを直接聞くことができる機会です。ぜひ会場にお越しください。

なお、第二陣となるシンガポール研修は令和7年3月22日から26日までの3泊5日、現地企業の訪問や現地の学生との交流を行う予定です。8月28日から9月24日まで募集を行っています。

また、姉妹都市であるアメリカ合衆国オレゴン州ペンドルトン市への高校生6人の派遣団は、すべての日程を終え8月21日に無事、帰国いたしました。10月19日に報告会を開催する予定です。

次に、市議会定例会についてです。

9月4日から開会となる第4回市議会定例会に提出する案件は、議案27件、報告3件の計30件を予定しています。

詳細はのちほど総務部長より説明します。

次に、野馬追の里健康マラソン大会・ウォーキング大会についてです。

12月1日に、第37回野馬追の里健康マラソン大会・第19回ウォーキング大会を開催いたします。現在参加者を募集中で、エントリーの受付は9月15日までとなっております。健康増進のため、ぜひご参加ください。

次に、こども未来ミーティングU18についてです。

市では9月23日、小学4年生から18歳までの皆さんから直接、意見や考えを寄せていただく「こども未来ミーティングU18」を開催します。

開催は昨年が続いて2回目となりますが、今年は初の試みとして、原町区の高見公園エリアでのフィールドワークを実施します。

市は原町区高見町地内に、地域子育て支援拠点施設の整備を予定しています。また、隣接地に民間が設立し運営する認定こども園も現在建設中です。これらの施設整備によって、高見公園と道の駅、こどもの遊び場、市立総合病院、生涯学習セン

ターといった、子育て世代が利用する施設が集約されることとなります。この高見公園エリアがより魅力的な場所となるよう、子どもたちに実際に現地を歩いてもらい、意見や考えを寄せていただきます。

子ども達から直接、意見を頂く貴重な機会ですので、活発なやり取りができることを期待しています。

次に、「ロボテスフェスタ 2024」についてです。

10月4日、5日の2日間、福島ロボットテストフィールドにおいて、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構と市の共催で「ロボテスフェスタ 2024」を開催します。

このイベントは、福島国際研究教育機構（F-REI）の主催、経済産業省の共催による「ワールドロボットサミット 2025」の福島プレ大会に合わせて行うものです。1日目はビジネス関係者向けの展示会・商談会で、2日目は一般向けの展示会・体験会となっています。

なお、「ワールドロボットサミット 2025」の福島プレ大会では、大規模災害が発生した際に、先端的なロボット技術によって迅速な人命救助を行うことを目的とした競技などが開催される予定です。

【質疑応答】

質問 1:

9月補正の「JR鹿島駅の駅舎改修事前調査業務委託」（主要事業説明書 17 ページ）について、駅舎を現状のまま保存するのか、それとも別な場所に移動するということでしょうか。

回答 1: 市長

鹿島駅舎はJR東日本が所有しています。老朽化に加えて安全性の問題などもあり、取り壊して必要な機能を残した駅舎にしたいとの話がJR東日本側からありました。その話を受けて、地元の皆さんと相談している状況です。

「駅舎を何とか残して活用したい」という意見が大多数で、市としても意見に応えたいと思っていますので、市による駅舎の保存活用を含めた検討を行うために必要な調査費用を計上します。

質問 2:

台風が接近する際に特に注意して呼びかけていることや対策があれば教えてください。また、台風第10号の接近に備えて、現在準備しているものはありますか。

回答 2: 市長

雨や台風などの対策は、その時の状況によって準備内容が異なります。今般の雨・台風対策として申し上げますと、市民の皆さんが早めに対策できるよう、予測情報をお伝えするようにしています。

例えば高齢者の方が暗くなる前に移動できるよう、明るい時間帯に避難所を開設するほか、側溝に葉やゴミが詰まっていることも多いようなので、今回は初めて、側溝等の点検を呼びかけました。土のうの配布は常に行っていて、自分で取りに来られない場合はお届けすることもあります。

台風第10号への備えは、お盆期間の前後にも台風が接近しましたので、一通り対策できています。

質問3:

先日、東京電力福島第一原発2号機で予定されていた、燃料デブリの試験的取り出し作業が延期となりました。東京電力の説明によると、初歩的なミスによるものと聞いています。再開の目処も立っていませんが、この事態をどのように受け止めていますか。

回答3: 市長

廃炉作業において大切な工程だと思っていましたので、延期は残念です。原因や内容の説明を受け、技術的な問題で延期したのではないということは理解しました。ただ、より早い段階でチェックできたのではないかとの思いもあります。

このようなことがないように、しっかり準備を進めていただきたいと思います。

質問4:

原因や内容の説明は、どなたから受けたのでしょうか。

回答4: 市長

定期的に東京電力から説明を受けているのもありますので、そうした中で説明を受けた記憶があります。詳細な日付等は後ほどお知らせします。

質問5:

処理水の放出から1年が経過しました。

漁業者の中には「単純な作業ミスが続いていて、いつか大きなミスによって風評被害をもたらすような事態になってしまうのではないか」という懸念があるようです。沿岸部の自治体として東京電力に要望することはありますか。

回答5: 市長

漁業者の皆さんと同じで私たちも「廃炉作業を安全で確実に進めていただきたい」という思いです。燃料デブリ取り出しの工程が延期となるのは残念ですし、手順を改めて見直すなどといった、初歩的なところから確実に進めていただきたい。現時点でこちらから要望を出すことは考えておりませんが、機会があれば適宜、触れていくつもりです。

質問6:

9月補正の「漁業振興対策事業臨時補助金」（主要事業説明書24ページ）について、計上に至った理由などを教えてください。相馬双葉漁業協同組合が管内自治体に支援を要望したことを受けた措置でしょうか。

回答6: 市長

おっしゃるとおり、本市を含む相双地方の漁業者が多く利用する、相馬市の松川漁船株式会社の再建に向けた補助が目的です。同社は造船と、漁船のメンテナンスを請け負っているそうですが、そのいずれも厳しい状況で、単独での再建が難しいと伺っていました。

今回、国と県の支援を受けて補助の枠組みができましたので、関係自治体等と連

携して支援するため予算を計上します。市内の漁業者も影響を受けますので、市としても再建が必要であると考えていました。

以上